

大橋 敬子 委員

「新型コロナウイルスにかからないために」

いこいの家の相談支援ちゅーりっぷでは、医療的ケア児の計画相談・モニタリングを何件か担当しています。「新型コロナウイルスにかからない」という事に関してはむしろ医療的ケア児のお母さんたちから教わることが多いです。

「支援学校の休校が終了しても、新型コロナウイルスのワクチンが出来なければこのまま在宅で過ごしたい。もし学校に通わせて感染したら自分は一生後悔するから・・・」

「今は計画相談の面談も来ないでほしい。電話対応でお願いしたい。訪問看護の方もお断りしている。」

「3月から学校を休ませている。こども病院の通院もなるべく電話対応にいてもらっている。3月からは訪問看護・訪問リハも断っている。4月からこども園に行く予定だった弟も、園を休ませている。今は外との交流を避け新型コロナウイルスから子供を守りたい。先生も気を付けて、ドアノブやスイッチなど意識して左手を使って下さい。右手はどうしても口や目、顔に近づくから。」

目に見えないウイルスから子どもを守るためには、家で過ごすしかない。もっと緊張感を持ってほしいと医療的ケア児を育てている保護者から言われているようで背筋が伸びます。